

鷹山宇一新資料 ㊦「題不明木版」(1933年頃、12.0×10.9cm) と ㊧油彩「月ノ形象」(1932年、26.8×21.3cm)

## 鷹山宇一制作 「題不明木版画」と「月ノ形象」

今年、鷹山宇一の新たな一面を垣間見る機会に恵まれた1年だった。相次いで2点の貴重な新発見資料が当美術館に収められた。それぞれ所有者は異なるもの、とあるキーウーマンお一方とのお縁がきっかけとなり実現されたものであった。「縁」とはまこと不思議なものである。それは、青森から遠い遠い和歌山の、梶近代美術館からいただいた情報にはじまる。

日本の近代版画史の流れを眺められるほどの、我が国屈指の版画コレクショで知られる同館には、有り難いことに「月の形象」という鷹山宇一の木版も収蔵されている。会員の皆様はすでにご承知のとおり、鷹山は若い頃、シュルレアリスム風の木版画で名を知られた前衛画家としての位置づけを持つ。その作品は、気に入った刷り点のみを残して原版をもすべて壊してしまうという徹底ぶりであったというから、紙という素材、そして、戦前という時代背景からしても、この時代の鷹山作品は極めて大切な存在なのである。

さて、肝心のご縁の話であるが、「題不明」ではあるけれど、同一の鷹山木版が珍しく数枚刷られて残されている。画家の名を冠した美術館にこそ収蔵されるのが相応しいのでは…? そのような願ってもないご厚意を賜り、その内の1点を譲り受ける仕合わせをいただいたのであった。と同時に、かの和歌山県立近代美術館に収蔵されている鷹山木版「月の形象」、それと全く同じと言つていい姿形の作品が遺っている。それも、木版画ではなく「油彩画」として…。そのような情報が連鎖して押し寄せた。

油彩は板に描かれていた。裏に作品名「月ノ形象」と1932年という制作年、画家の名前がしっかりと記されている。木版の方はというと、その翌年の1933年に結成され同年に第1回展が開催された「新油繪の会」に出品されたもの。「新油繪」は、鷹山をはじめ二科会の若手前衛画家により創立され、一緒に会をつくったメンバーには、鷹山同様第17回二科展に初入選をした大阪生まれ和歌山育ちの画家・高井貞二がおり、木版「月の形象」と題不明の鷹山木版とは、その当時から高井氏のもとで大切に保管されてきた作品なのであった。

題不明木版は、当時の青森の創作版画誌『陸奥駒』第4号(昭和8年5月5日発行)に所収されている鷹山の「月に吠える牛」に相通する雰囲気をもつ。タイトルをつけるならば「雲に吠える犬」とでも言えようか。油彩「月ノ形象」は木版画のためのエスキース、なのか? なぜ木版と瓜二つの油彩が最期までアトリエに大切に保管されていたのか? 鷹山宇一にとつてどのような価値をもつ作品だったのだろうか? 鷹山ミステリー! 大きな課題をいただいた年末を過(こ)している。

(学芸員 大池亜希子)

# 「新幹線で

# ちよいつと美術鑑賞」

七戸町／奥山雅子  
(友の会副会長)

十二月四日、東北新幹線全線開業で東京がとて近くなりました。待ちきれず、一足お先に東京を楽しんできました。ホテルは新幹線とセットのバックの中から交通の便を考えて「ホテルニューオータニ」に決めましたが、ホテルの中にある「ニューオータニ美術館」で特別展『日本画に見る四季の美展』が開催されていました。宿泊客無料とのことが入館して驚きました。とても小さな美術館ですが、川合玉堂と川端龍子、横山大観との連作「雪月花」が三作品並んで展示してありました。他にも橋本雅邦、上村松園、鍋木清方、加山又造の作品を含み、数こそ少ないですがとても素晴らしい作品の数々を無料で鑑賞出来たことは、とても幸せでお得な気分でした。

前日、国立新美術館で人混みの中、入館者の頭の上から『ゴッホ展』を鑑賞した後だったので、格別に感じたのかもしれない。  
ホテルの方々のおもてなしがとて心地よく機会があれば、又宿泊し



ニューオータニ美術館！ 本格的な美術館です。

たいと思いましたが。老舗のホテルの品格をとて感じました。  
これからは、日帰りでもちよいつと東京で美術鑑賞が可能になり、見たい作品に出会える機会が増えそうですね。

一方、我が鷹山宇一記念美術館は、新しくできた「七戸十和田駅」のすぐ前（徒歩5分）に位置しています。今まで交通の便が悪く青森、下北、八戸、弘前津軽方面の会員の皆様の初め、特別展等にお出かけの方々にとても不便をおかけしておりましたが、在来線と新幹線を利用してマイカーの無い方でもご案内が出来るようになったことがとてもうれしく思っています。  
一例を申しますと青森駅から新青森駅と乗り継いで七戸十和田駅まで乗り継ぎ時間を入れて三十分位、又料金も一區間なので立席特急券・往復割引で三千二百円、本八戸駅から八戸駅と乗換時間を入れても七戸十和田駅まで三十分位で同じく三千六百円です。弘前駅から一時間位で同じく四千七百四十円（奥羽本線、立席特急券利用で算出）です。また、新たに下北方面とのバス路線が開業し、一日二

往復運行しております。詳しくは美術館までお問い合わせ下さい。  
これを機会にたくさんの方々気軽に七戸の美術館まで足を運んでいただきたく存じます。是非ご友人、知人の方々に改めて「鷹山宇一記念美術館」をご紹介して下さいませうようお願い致します。

私のおすすめは冬の静かな美術館で過ごすひとときです。常設展の鷹山宇一の作品にふれ、ゆっくりとランプ館、絵馬館をめぐりながら回廊の窓から八甲田山を眺め、ロビーの椅子に腰掛け、美術館に置いてある美術誌を読みながらのんびりしてみませんか。

春から新たな企画展も計画されているようですから、それを楽しみに待ちながら北国の冬を過ごしたいと思えます。

友の会主催の国内研修旅行ですが、東京や関西方面の美術館巡りを企画して欲しいとの要望を頂いております。まだ具体的な計画はありませんが、実施方法等についてご意見・要望をお寄せ下さい。役員会等で検討して参ります。  
また、来年四月には第5回目の海外研修「オランダ・ベルギー美術紀行9日間／ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」が実施されます。若干名の余裕がございます。本号八頁をご覧ください。



鷹山宇一記念美術館

News & Report

2010.12.15 発行

# 鷹山賞児童作品展

お慶びをもちまして10周年

記念特別展を開催中!

新年1/23(日)迄

## 濱田進展

鷹山賞児童作品展  
審査員長

二科会評議員

### Information

◇入館時間◇  
10:00-17:30  
(閉館18:00)

◇休館日◇  
毎週月曜日

\*月曜祝日の場合は開館し翌日\*

◇入館料◇  
一般500円・学生300円  
小中学生100円

\*反の会員の皆様は特別とす\*

年末年始も開館  
\*1/3(月)は定休\*

「子どもの感性は風土の中で培われる」の精神の下、青森県南部地方の小中学生に作品を公募する絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」も、今年第10回展を数えます。

今展では44団体1個人より700点もの力作が寄せられ、10月1日、2日の審査会において入賞26点入選79点が選出されました。その栄えある入賞者を讃え11月13日に行われた授賞式には、京都から第1回展より審査員長を務める二科会評議員・濱田進先生ご夫妻のご臨席も賜りました。

入賞入選作品展は新年1月23日迄開催しております。併せて、第10回展を記念し、審査員長・濱田進先生の油彩・水彩を特別展示するとともに、「鷹山賞10年のあゆみ展」として、歴代の鷹山賞受賞作品を一堂にご紹介しています。また、毎年ご好評をいただいている地球環境をテーマに世界各国の子どもたちに作品を公募した「地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」(主催:JOAほか)その第10回展から55作品も展示!ご家族皆様で、子どもたちによる絵画展を是非お楽しみください。

【第10回鷹山賞児童作品展「鷹山賞」受賞作品】



①小学生の部「元気にさけぶこえよしどり」(水彩/外画) 磯嶋洋平君 (八戸市立白鶴小学校2学年)  
②中学生の部「とりの通り道」(ホス-カ-) 戸崎香苗さん (八戸市立三条中学校3学年)



【授賞式当日のスナップから】

- ①小学生の部鷹山賞を受賞した磯嶋洋平君。当財団青山浄晃理事長より賞状と副賞が手渡されました。
- ②ご祝辞を頂戴しました。(右)七戸町長・小又勉様、(左)青森県立美術館長・鷹山ひばり様
- ③テープカットをして展覧会の開幕を祝いました。左から倉本貢七戸町教育長、二科会評議員・濱田進先生、七戸町長・小又勉様、鷹山賞小学生の部受賞・戸崎香苗さん、七戸町議会議長・田中正樹様、青森県立美術館長・鷹山ひばり様、当財団青山浄晃理事長



### ●濱田進展 12/28(火)~後期展示作品に入れ替えます!



◀作品は、カンボ広場で「和紙水彩」中世の付まいを存に伝えるイタリ・ア・トスカーナ地方の街エナの中心に、世界で最も美しい広場と称されるカンボ広場があります。濱田先生が愛するイタリヤをはじめ南仏の街並み、街角風景。先生ならではの視点で繊細にお楽しみください!

# 第11回 遊蝶記 から

今年も「遊蝶記」の季節となりました。一年はあっという間、ですね。

「遊蝶記」は、会員の皆様にはすでに御存知のとおり、鷹山宇一先生が逝去された翌年から毎年続けられている、12月10日のお誕生日を記念した先生を偲ぶ一日、そして、美術館を無料開館して、多くの方々に一層その作品とお人柄に親しんでいただくという開催している、この季節恒例の事業です。

「遊蝶」は先生の代名詞的作品名「遊蝶・花」から、そして「記」は「記憶」「記録」「記述」のように憶えておく、書き記しておく、との意味合いを込めて命名されています。生前、湿っぽいのが大の苦手、愛する家族たちとともに過ごすお誕生日を大変楽しみにされていたというご家族の思い出のもとに、当館では



▲町内外の宇一ファンが集いにご参加くださいました

この日を記念日と定め、本年11回目の「遊蝶記」開催となりました。

夏の猛暑もさることながら、冬も暖冬？の様相を呈するこの頃でした。当日は朝から雪がチラホラ。いよいよ冬本番か、と思いきや「遊蝶記の集い」が始まるお昼頃には晴天と相成りました。鷹山家待望の嫡男として誕生した102年前のこの日は、果たしてどのような一日だったのでしょうか。思いを馳せながら皆でハッピーバースデーの歌をうたい、口ウソクの火を吹き消して、生誕記念日をお祝いしました。

今年初めてご参加くださった方々、そしてお馴染みの皆様も多くお見受けし、嬉しいひとときとなりました。2010年を締めくくる「遊蝶記」。一年を振り返り、そして新年への抱負を心に誓う一日となりました。2011年が皆様にとりまして、佳き年となりますよう、スタツア一同心から、祈念しておりマス!!

## アート★ツアー 開催しました

11/27(土)「絵馬と馬と祈りの旅」  
12/10(金)「もつと鷹山宇一!!」

当館では、収蔵資料や作品、収集作家への理解を一層深めていただくこと、館内での作品鑑賞に留まらず、館外へも足を運んで学習しようという美術講座「アート・ツアー in 鷹山」を、本年から新事業として立ち上げ、このほど第1回、第2回の講座を開催いたしました。

第1回目の講座は、見町観音堂、小田子不動堂の「南部小絵馬」等資料をメインに「祈りの旅」と題して、絵馬館での学芸員による解説付きの鑑賞をはじめ、実際に奉納されていた両御堂の見学、そして、両御堂創建当時から七戸町を見守り続けてきた大樹「銀南木」など、町内のヒール

リング、パワースポットを巡り、全国的にも珍しい十和田市の馬の博物館「称徳館」を訪ねました。

鷹山宇一先生記念日にあわせて開催した第2回目の講座では、学芸員によるギャラリー・トークをはじめ、宇一先生の長女・鷹山ひばり青森県立美術館長にご講演をいただき、ご家族から見た宇一先生の素顔をご紹介いただきました。もちろん「遊蝶記の集い」にもご参加いただき、午後からは宇一先生も作品に描いた「南部曲家」が今に伝えられているハッピーファーム(旧・盛田牧場)や若かりし時代に描いた舞台幕「牡丹に唐獅子」が飾られている柏葉館、菩提寺瑞龍寺など、町内ゆかりの地を巡るツアーに出掛けました。

第1回目、2回目ともに「七戸町文化ガイドの会」の皆様のご協力をいただき、七戸町の歴史と文化を身近に感じるプチ旅、となりました。新年も引き続き第3回、4回と「旅」の企画を予定しています。どうぞお楽しみに!



①第1回ツアーで訪れた「銀南木」大樹の「気」を肌で感じ、清らかな空気に包まれて!  
②第2回ツアーでの鷹山ひばり県立美術館長による講演。鷹山作品に囲まれて…  
③(右)柏葉館牡丹に唐獅子(左)瑞龍寺山門

# からおしらせ

## 館 宇 一 記 念 美 術 館



●東北新幹線「七戸十和田駅」開業！  
駅から歩いて7分の美術館になりました

12月4日、ついに開業の日をむかえました。写真のとおり、当美術館北側にそびえる駅舎が間近に見えます。八甲田の山々の稜線と良馬の産地として名高い七戸町にちなんだ「馬のなだらかな背」をイメージしたデザインがよく映えます。アクセスが大変便利になりました。新幹線に乗って美術館に行こう!!

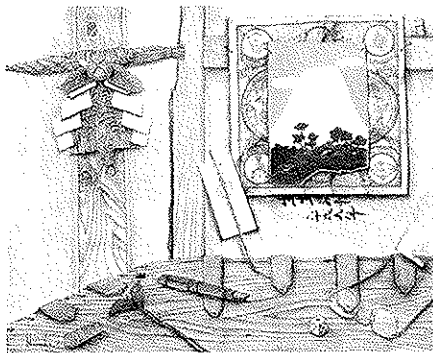
▼青森駅→新青森駅→七戸十和田駅 約30分。往復3,200円(新幹線W切符)  
▼八戸駅→七戸十和田駅 約13分。往復2,980円  
\*青森八戸方面共に「はやと号」は立席利用の料金です  
▼東京駅→七戸十和田駅 片道3時間21分、乗り換え不要アス!

●年末年始も開館してマス!

\*1/3(月)はお休み

年末年始、新幹線を利用されている旅行、里帰りなど、開業を機会に当地方へお出掛けになるお客様も増えることと思います。行き先に行き詰まったら是非美術館へお立ち寄りください。日常の喧噪を離れた当美術館で、鷹山宇一の幻想世界にまったりと触れるひとときもまた、ステキですよ♡ご来館をお待ちしております。

### 「濱田進展」開催中!

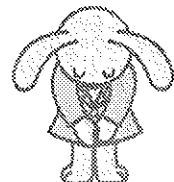


▲濱田進「室内」(キャンバス・油彩、1997年)

●当館メールアドレス変更となりました

info@takayamamuseum.jp

「ご迷惑、お手数を掛けいたしますこと、お詫び申しあげますとともに、上記アドレスへのご変更、ご登録をお願いいたします。」



美術館 ●●●●●  
ワークショップ ●●●●●  
ものづくり教室 から ●●●●●

ウッド カッターズ クラブ  
WOOD CUTTERS CLUB  
— 木のこりの工房 —  
美術館ま〜つと!くらぶ

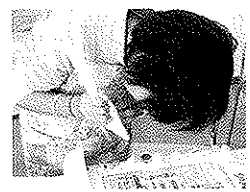
### 「WOOD CUTTERS CLUB」木のこりの工房

こちらの教室からは、10月24日、11月28日に行った「スイーツデコレーションづくり」の様子をご紹介します。

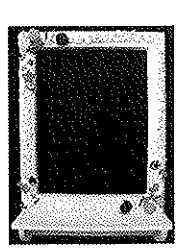


今回は、ツールペイントからちょっと離れて、樹脂粘土を使った工作に挑戦しました。樹脂粘土は紙粘土と違い、細かな表現に適しているため、形や質感をリアルに表現できます。まずは設計図を書き、イメージができたからお菓子をつくっていきます。つくりたいお菓子によって樹脂粘土の種類を変え、質感の違いも勉強しました。大好きなお菓子やクッキー、アイスクリームなど、必要な分のアイテムをそろえました。2回目

は楽しみにしていたデコレーション！自止め等に使う白のシリコン

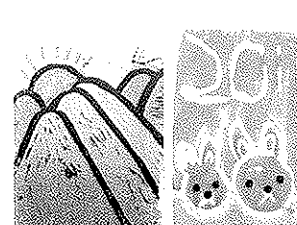


をクリームに見立ててしぼり出します。その姿はまるでパティシエ。無我夢中で制作に取り組んでいました。世界にひとつだけの伝言板、完成です!



「美術館ま〜つと!くらぶ」あ〜つと!くらぶからは、11月20日、12月4日に行った「年賀状版画づくり」の様子をご紹介します。

毎年恒例となったこの教室。講師は、元奥入瀬小学校校長の藤谷芳雄先生です。彫刻刀覚え立ての3年生は木版画、2年生の参加者は、ステンレシボドを使ったカラー版画での年賀状制作に取り組みました。彫刻刀の使い方をみっちりとおさらいし、各自が考えた下絵を丁寧に彫って版を作り上げていきます。2011年の干支である卯、そのほか日の出や富士山など、思い思いの年賀状を心を込めて刷りました。藤谷先生、今年度も丁寧なご指導ありがとうございました。



# ● 美術館日誌 ●

## 【6月】

- ▼2日/戸館館長青森市出張
- ▼4日/つがる市立向陽小学校PTA21名様ご来館
- ▼5日/あおもりNPOサポートセンター22名様ご来館
- ▼6日/南部藩児童交流第2回実行委員会に佐伯出席(七戸庁舎)
- ▼8日/北日本BS観光17名様ご来館
- ▼9日/観光コンテント高度化支援事業視察。大池京都府出張(濱田進展作品集荷立会、11日迄)
- ▼11日/美術館あつとくらぶ「ローラー転がし遊び」開催
- ▼15日/鷹山賞児童作品展応募締切日。戸館館長青森市出張
- ▼16日/七戸南公民館講座「アートのたしなみ郷土の画家編」当館を会場に開催(講師大池)
- ▼17日/当財団第1回評議員選定委員会開催。絵馬館取材(RAB開発)
- ▼19日/アスパム「360度パノラマ映画」リユニアルに伴う館内撮影
- ▼22日/十和田市老人クラブ連合会18名様ご来館。「七戸町まちづくりの会」会議に佐伯出席(七戸町役場本庁)
- ▼25日/七彩色油絵教室開催
- ▼26日/青森市造道町会46名様ご来館。WOOD CUTTERS CLUB「ミニテーブルづくり」開催。濱田進展作品搬入(東京マール美術)
- ▼29日/冬季観光リーフレット等各種事業説明会に佐伯出席(十和田市役所)

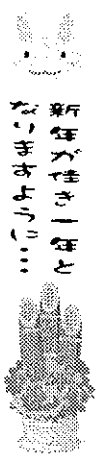
## 【7月】

- ▼1日/二科会評議員・鷹山賞児童作品展審査員長濱田進先生来七。第10回鷹山賞児童作品展審査会(2日迄)。濱田進先生を囲む夕食会を開催(杉屋敷)
- ▼2日/新老人の会14名様ご来館。美術館あつとくらぶ「ステンシルカラー版画づくり」開催
- ▼3日/津軽保健生協浪岡支部34名様ご来館。友の会会報60号発送作業
- ▼5日/展示替え休館(8日迄)。国際写真サロン展作品搬入。十和田湖畔ボランティアガイド6名様絵馬館を視察
- ▼6日/いたや町レディースサークル13名様ご来館
- ▼9日/第70回国際写真サロン展初日(11/7迄)。WOOD CUTTERS CLUB「リースアクセサリー作り」(講師/廣田有布氏)「シルバリアクセサリー作り」(講師/片山雄介氏)開催
- ▼10日/あつとくらぶ「ピースアクセサリー作り」(講師/廣田有布氏)「シルバリアクセサリー作り」(講師/片山雄介氏)開催。弘前中央高校PTA42名様ご来館
- ▼13日/花の会20名様ご来館
- ▼14日/光ケイブル工事(NTT)
- ▼17日/弘前市藤代保育園34名様ご来館
- ▼18日/フレッツ光移行工事、セッティング(NTT、ビスコムモバイル)
- ▼19日/「七戸町まちづくりの会」会議に佐伯出席(七戸町役場本庁)
- ▼21日/十和田市立法奥小学校野坂先生来館、園工部会「セミ打合せ」
- ▼22日/戸館館長青森市出張青森県博物館大会に出席
- ▼23日/七彩色油絵教室開催

## 【8月】

- ▼24日/WOOD CUTTERS CLUB「スイーツコレクション」開催。七戸町観光協会主催「しちのへ秋の観光ツアー」48名様ご来館
- ▼27日/おいらせ町立木内々小学校5学年児童65名引率教員3名様ご来館。美術館冷暖房切替作業(キタ工業)
- ▼28日/佐伯、七戸町産業文化健康まつり会場準備
- ▼29日/佐伯、七戸町産業文化健康まつり展示作業
- ▼31日/佐伯(織川、七戸町産業文化健康まつり後片付け。スペイン館屋根外壁工事に伴う高圧洗浄のため、スペイン館内展示作品撤去作業
- ▼1日/スペイン館内展示作品復旧作業
- ▼2日/大池青森市出張(鷹山賞児童作品展副賞等引取)
- ▼3日/「東北文化の日」に伴い高校生以下の無料入館を実施
- ▼4日/若手町観光協会21名様ご来館。「七戸町まちづくりの会」会議に佐伯出席(七戸町役場本庁)。当財団第5回理事會開催
- ▼5日/戸館館長東北新幹線試乗会に参加。大池八戸市出張(鷹山賞児童作品展副賞等引取)
- ▼6日/戸館館長「七戸町観光交流センター」オープニングセレモニーに出席
- ▼7日/第70回国際写真サロン展最終日(会期中の入館者804名)。展示替え作業(フォトしちのへ手伝い)。戸館館長東京出張
- ▼8日/展示替え休館(13日迄)。A重油2キロリットル納入

- ▼12日/第28回地域づくり団体全国研修交流会青森大会第14分科会様ご来館。館内見学と絵馬制作を体験、夕食交流会に戸館館長出席(山鏡)
- ▼13日/鷹山賞児童作品展入賞者授賞式、開催式、レセプションパーティー開催。濱田進先生ご夫妻ご来館
- ▼14日/鷹山賞児童作品展・濱田進展・鷹山賞10年のあゆみ展・地球環境博覧会「コンテント優秀作品展初日(1/23迄)。七彩色油絵教室開催
- ▼16日/戸館館長青森市出張JAF会議出席
- ▼17日/第2回評議員選定委員会開催
- ▼18日/グラフィック青森、戸館館長取材。青森県立七戸養護学校児童5名引率教員2名様ご来館。市野沢婦人会26名様ご来館
- ▼19日/佐伯、六ヶ所村立千歳平小学校にて出前ワークショップ開催(デコパージュ)。城北保育園きりん組20名引率保育士3名様ご来館
- ▼20日/美術館あつとくらぶ「年賀状版画」開催
- ▼23日/大池「ユメココ・フェスティバル」講師(七戸町観光交流センター)
- ▼26日/七戸町立城南小学校3学年39名引率教員2名様、2学年37名引率教員3名様ご来館
- ▼27日/アート・ツアー「絵馬馬折りの旅」に11名様参加
- ▼28日/RAB青森放送当館取材
- ▼30日/青森DC上北地域連絡会議に戸館館長出席(和田富士屋ホテル)。七戸町立七戸小学校2学年39名引率教員4名様、4学年43名引率教員4名様ご来館



わたしのおすすめ美術館

洗心美術館(八戸市)

現代作家の素朴な心の美に相通じる  
 洗心美術館は、文化勲章受章の彫刻家・澤田政廣氏や画家・松村健三郎氏の作品などを常設展示しています。  
 代表作「傷つける武人」(製作年1960年)が訪れる方々を迎え、正面にかざられる「国立」(制作年1960年)の像が皆様を館内へご案内致します。  
 また、徒歩でお出での方は駅前広場をかざる澤田政廣氏の代表作「海の讃歌」をじっくりとご覧になり、さらに美術館の小さな緑地に佇む名嘉地千鶴子氏の「若い季節」をあわせて鑑賞下さい。(T・T)



洗心美術館正面

参考資料  
 洗心美術館及び山口瞳絵画展のパンフレット等。(使用許可を頂いております。)

【展示作品の作家紹介】

- ・澤田 政廣 (さわだ せいこう)  
 1894年、静岡県熱海市に生まれる。日本芸術院会員、文化勲章受章。展示作品「釈迦誕生」外
- ・松村 健三郎 (まつむら けんざぶろう)  
 1901年、福島市に生まれる。生涯、芸術の道を極め続けた、孤高の作家。展示作品「津軽林檎」外
- ・関 頑亭 (せき がんてい)  
 1919年、東京・国立市に生まれる。澤田先生へ昭和8年に師事、澤田先生をして、他人に紹介するとき「関君は、私の心の先生です」と言われ、91歳で、なお、これから5年は要するだろうと仰る大作に挑戦されている。展示作品「定印」外
- ・島崎 樹夫 (しまざき たてお)  
 1938年、岐阜県木曾馬籠に島崎藤村の長男楠雄の三男として生まれる。展示作品「漁村」外
- ・今城 國忠 (いましろ くにただ)  
 1916年、広島県芦品郡府中町に生まれる。澤田先生へ昭和11年に師事。展示作品「海」外
- ・名嘉地 千鶴子 (なかじ ちずこ)  
 1925年、佐賀県に生まれる。澤田先生へ昭和35年に師事、特に澤田先生の晩年の15年間、献身的にお仕えする。展示作品「大地」外
- ・その他に高村 光太郎 (たかむら こうたろう)、山口 瞳 (やまぐち ひとみ)、関 敏 (せき びん)、嶋田 秀男 (しまだ ひでお)。  
 \*なお、洗心美術館では約600以上に及ぶ所蔵作品の入れ替えを随時行いご鑑賞頂いております。

開催中!! 洗心美術館特別企画

山口瞳 絵画展  
 直木賞作家・もうひとつの顔



洗心美術館

「長年の文学生活で培われ磨かれた感性の賜物である山口瞳先生の作品は、先生自身の持てる清浄心が前面に表れております。薄暮の中に明かりが灯る家を描けば住人の和やかな生活が垣間見え、東北十三湖の破船を描けば往時の舟人が彷彿としてまいります。いつまでも輝きを失うことはない人間山口瞳の絵をご高覧下さいませようご案内申し上げます。」

【案内文から転載】

山口瞳 略歴 東京・麻布生まれ。1926年～1995年。  
 1963年 婦人画報連載「江分利満氏の優雅な生活」第48回直木賞受賞。週刊新潮コラム「男性自身」連載開始  
 1988年 ギャラリー「エソラ」にて初個展「庭の枯葉展」  
 1995年 ギャラリー「エソラ」にて個展「私の帽子展」  
 【協力】山口治子/関頑亭/うなぎ押田/STS/(株)サトウ/ホテル醍醐/ギャラリーエソラ  
 お問合せ先 洗心美術館 電話 0178-27-6570

洗心美術館では、多才な人として知られる東京都出身の直木賞作家・山口瞳の絵画展を二〇一〇年十二月一日から二〇一一年五月二十九日まで開催しています。

【洗心美術館の営業】

- ・名称：一般財団法人 洗心美術館  
 代表理事・館長 小坂 明
- ・住所：八戸市大字長苗代字上碓田56-2  
 (八戸駅から徒歩10分)
- ・電話：0178-27-6570
- ・FAX：0178-27-3496
- ・休館日：月曜日(祝日開館、翌日に振替)  
 12月29日～1月3日、臨時休館日
- ・時間：10:00～16:30
- ・入館料：一般500円 大学・高校生300円  
 小中学生100円  
 \* 団体(20名以上)は2割引



第5回友の会海外研修旅行 最終案内

「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」

2011年4月オランダ・ベルギー美術紀行9日間

第5回友の会海外研修旅行、12月10日現在で30名の会員から参加申し込みを頂いております。

この度の海外研修は「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」と題して巨匠の名画を堪能する「美術紀行」で、ベルギーやパリも訪問します。

第2回旅行説明会を平成23年1月15日(土)に美術館で開催致します。

募集定員まで若干の余裕がございます。参加検討中の方も出席してお話を聞いてみませんか。

旅行日程は、平成23年4月10日から4月18日までの9日間です。(詳細は美術館にお問い合わせ下さい。)

第2回旅行説明会 平成23年 1月15日(土) 13:00

美術館2F工房

○募集定員 35名(最少催行人員20名)

○ご旅行代金 350,000円

(燃油サーチャージは含みません。)



「夜警」 レンブラント  
アムステルダム国立博物館



「デルフトの眺望」  
フェルメール  
マウリッツハイス美術館

友の会会員登録の更新と

新規会員入会お誘いのお願い

平成22年も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。  
新年も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んでいただけるよう研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。  
平成23年度更新手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替により行っておりますのでよろしくお願い致します。

○友の会の事業内容

- ① 県内外美術館研修視察旅行(年2~3回)
- ② 海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行 2011年4月 オランダ・ベルギー美術紀行)
- ③ 美術館作品購入基金への協力
- ④ 鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤ 会報の発行
- ⑥ その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円  
特典 ① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引き

- ② ミュージアムグッズ1割引
- ③ 研修会、講演会への招待、優待
- ④ 他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤ 会報の配布

○特別会員

年会費 1万円  
特典 (個人・法人) ① 一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

年会費 2万円  
特典 (個人・法人) ① 一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③ 特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★会費納入についてのお知らせ  
平成22年10月1日~23年3月31日の間に新規会員となった方は平成24年3月31日までの会費となります。

★ご意見・ご要望をお寄せ下さい。  
皆様の会報です。友の会事業全般、研修旅行、お便り、旅行記等をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

★友の会事業へのご参加をお願いします。

編集後記

祝・東北新幹線全線開業。青森の地を多くの方々が訪れ、鷹山宇一記念美術館が地域の文化芸術の発信基地として発展するために会報を通して貢献したい。平成23年、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。(1.1)